

-Index- 映画「ヒゲの校長」インタビュー<第2弾>後編
中学部「授業見学会・教育相談」のご案内
高等部「学校見学・体験入学」のご案内
令和4年度 学校見学会のご案内
第23回 近畿教育オーディオロジー研究協議会
総会・講演会・講習会 — 対面聴講・オンライン開催 —



映画「ヒゲの校長」インタビュー<第2弾>後編

大阪ろう就労支援センター理事長

前田浩先生に、ききました！

みみネット No.320 では、映画「ヒゲの校長」で福島彦次郎先生の役を演じられた、前田浩先生（大阪ろう就労支援センター理事長）へのインタビュー記事（前編）を掲載しました。今号では、インタビュー記事の後編をお届けします。

映画「ヒゲの校長」の見どころについて教えていただけますか？

チーム高橋の強い思いと、子どもたちへの温かいまなざし

今日でいう多様性、共生社会という理念は自然発生的に形成されたものではなく、人種やジェンダー問題、障がい者を取りまく課題などをめぐって、長い歴史の中で世界のそれぞれの場を取り組まれてきている問題であります。言語面で考えると、かつてこの国のろう教育は手話を排除し、ろう者がありのままに振る舞う姿を受け入れようとしなかった負の歴史がありました。

そして昭和初期は日本が戦争に突入していく灰色の時代であり、そこでは沖縄の言葉等への圧迫も強まり、韓国においては教育等の場における日本語の強制というあってはならない誤りも犯していた時代でもあり、こうした背景が手話排除の流れに繋がっていたのです。

映画『ヒゲの校長』では、手話を否定し、ろう者を一般社会に同化させることを教育目標とした口話教育のオピニオンリーダーや当時の文部省の言語政策にあらがいがながら、ろう者・ろう児の目線に立って適性教育を進めてきた大阪市立聾学校のス



ピリット、高橋先生をはじめ高橋の信念を支えたチーム高橋の強い思い、子どもたちへの温かいまなざしを描きだしてみました。

教員と子どもとの心の通い合い

ろう・難聴の子どもたちのきこえの状況やコミュニケーションのありようは、今後ますます多様化していきます。人工内耳等耳鼻医学や、補償工学の発達は「耳で生きる人」を増やすものと思われませんが、他方で手話言語によるコミュニケーションスキルの開発プログラムや指導スタッフの充実によって「手話で生きる人」も育っていきますし、そこから聴覚障がい者の言語やコミュニケーション環境、特に聴覚支援学校の教室内におけるカオス状況が深まるのではないだろうか・・・そうした視点に立ってみると、昭和の手話口話の論争は、形を変えて今なおコップに沈んだ澱のように残っているように思えます。

本校は、その長い歴史の中で、教員と子どもとのコミュニケーション、心のつながりを珠玉のように大事にしてきました。前田が知る卒業生たちは、同窓会等の集まりの中で、恩師の先生方への感謝の思いを語っておられます。

〇〇先生の手話による時事問題が今も脳裏によみがえってくること、〇〇先生はクラスのだれに対しても分け隔てなく話してくれ、卒業後もずっと同窓会の集まりに来てくださったこと、今でも自分が属したクラスの楽しかったホームルーム場面が夢に出てくること等々、彼らの学校や教員たちへの揺るぎなき信頼がひとと伝わってきます。



映画においても、教員と子どもとの心の通い合いを表出してみましたし、桃谷校舎～生野校舎時代における大阪市立聾学校の教員群像の苦悩と創意工夫のドラマを通して、皆さんが私たちのメッセージをどのように感じ取ってくださるかを楽しみにしています。

「みみネット」の読者である、聴覚障がいのある子どもたちを担当されている先生方に向けて、メッセージをお願いします！

「学ぶ」こと、「尋ねる」ことの面白さを発信し続ける

教員は授業で勝負です。知識を切り売りするのではなく、「学ぶ」こと、「尋ねる」ことの面白さを発信し続ける教室環境を築きましょう。社会科であれば「こういう訳でペリー提督は黒船を率いてやってきた」ことの説明も大切ですが、「なぜあれほど強い姿勢でもってペリーは開国を迫ってきたのだろう」と問いかけ、考えさせ、自ら調べようとする多面的で対話的な

授業環境を構築しましょう。(今日はあの先生の理科の実験が楽しみや)(今年来られた新しい先生、手話のことをどんどん聞いてくれて私も楽しいな)・・・そうしたワクワク感をもって学校に子どもたちが登校してくれるような学校をめざしましょう。

学校はモノ作りの場や工場や会社ではなく、崇高な人間個性を育てる場です。保護者の信頼のもと、子どもたちを預かり、学力や社会性等の生きる力を身につけさせていく社会的責務を先生方は担われています。子どもたちが成長していく時、教員としての自己も知らずのうちに成長していきます。前田自身もそうでしたし、そこに教職という仕事の魅力があると思います。子どもたちの声を聞き、彼らが身を乗りだすような授業を提供し、同僚たちと信頼関係を構築していく中で、自分も人として成長しているという感性を抱き続けて下さい。

いま「平和であること」の意味が強く問われています。あってはならないことが、現在進行形で起こっています。それは1943年冬、フランスのクレルモンでの出来事でした。当時のナチスの暴挙にて多くの大学教員、学生が銃殺され、数百名が連行されるという戦禍と弾圧に打ちのめされながらも、詩人レイ・アラゴンは『ストラスブール大学の歌』という有名な詩を書きました。「陽の色に輝くカテドラル」に始まるアラゴンの詩は強烈なレジスタンス精神に満ち満ちていますが、その詩のよく知られたフレーズをお伝えします。

「教えるとは希望を語ること 学ぶとは誠実を胸に刻むこと」

今から80年も昔の暴挙が、現実には繰り返されていることに驚きを禁じ得ません。「希望・誠実」は、前田にとっても聴覚支援学校在職時には子どもたちへの、就労支援にかかわる現在は利用者の皆さんに接するにあたっての原点でもあります。先生方にも、このメッセージに思いをめぐらしていただきたく思います。



映画「ヒゲの校長」は、事前指導を行うことで、小学校の低学年でも理解できる内容となっています。

インタビュー中には、「主体的・対話的で深い学び」というのは、ろう学校でまさに必要とされている学びであるということ…正解を「○か×」に限るのではなく、いろいろな例をもとに自分の体験と結び付けて考える力を育むこと…そのために、教員が丁寧にアプローチすることが求められているといった話も伺うことができました。

前田先生、ありがとうございました！

7/8

中学部『授業見学会・教育相談』のご案内

本校中学部では、聴覚障がいのある児童・保護者を対象とした、授業見学会ならびに教育相談を行っています。学校説明では、教育目標や本校中学部の取り組みについてお話しします。また、授業見学会では、視覚的な配慮やそれぞれの課題に応じた指導方法について、実際の様子を見ていただくことができます。

〈日 時〉令和4年7月8日(金) 9:30 受付(9:50~12:40)

〈場 所〉大阪府立中央聴覚支援学校(本館3階1年生教室、家庭科室など)

〈対 象〉本校小学部6年生で、本校中学部への入学を希望・検討している児童・保護者
本校通学区域内の大阪市立・守口市立小学校6年生で、本校中学部への入学を希望・検討している児童・保護者

〈時 程〉

時 間	内 容	場 所
9:30~	受付	本館3階1年生教室
9:50~10:40	学部説明	本館3階1年生教室
10:50~11:40	授業見学	各教室
11:50~12:40	教育相談	各教室

〈申込方法〉別紙参加申込書を、在籍校を通して本校まで郵送またはFAXにて送付

〈問い合わせ〉大阪府立中央聴覚支援学校 中学部(担当:栗田)

TEL 06-6761-1419 FAX 06-6762-1800 締め切り 6月24日(金)

8/18・19

高等部『学校紹介・体験入学』のご案内

聴覚障がいのある中学生を対象に、本校高等部(普通科・アパレル情報科・インテリア科)の紹介・各学科の体験入学を実施します。進路選択の参考として、ぜひご参加ください。



【中学3年生対象】

〈日時〉令和4年8月18日(木) 10:00～11:30 (普通科生活応用コース)
19日(金) 10:00～15:00 (普通科・アパレル情報科・インテリア科)

〈場所〉本校高等部

〈対象〉中学3年生とその保護者、担任および進路指導関係担当教員

〈時程〉

18日(木)	9:50～	受付
	10:00～	学校長挨拶 一日の流れについての説明
	10:30～11:30	生活応用コース 体験授業

19日(金)	9:30～	受付	
	10:00～	学校長挨拶 学校説明(生徒会活動・進路状況・教育課程)	
	10:30～11:10	普通科 体験授業①	アパレル情報科
	11:20～12:00	普通科 体験授業②	インテリア科 体験実習①
	13:30～14:10	普通科 体験授業③	アパレル情報科
	14:20～15:00	普通科 体験授業④	インテリア科 体験実習②

次の体験のいずれか3つまで申し込みます

(※但し、普通科・アパレル情報科・インテリア科3つ同時選択は不可)

- 生活応用コース 体験授業(60分)「プラ板 キーホルダー制作」
- 普通科 体験授業①～④(40分×2)
「数学を活用して色々なものを測ってみよう」(数学)
「比喩表現に親しもう」(国語)
- アパレル情報科 体験授業(90分)「illustratorでつくる名刺」
- インテリア科 体験実習(90分)「ストリングアートプレート～製図から制作まで～」

〈持ち物〉筆記用具、上履き、体操服(インテリア科の体験実習を希望する場合)
弁当(19日に複数の科の体験を希望する場合)

【中学1,2年生対象】

〈日時〉令和4年8月18日(木) 10:30～15:00

〈場所〉本校高等部

〈対象〉中学1,2年生とその保護者、担任および進路指導関係担当教員

〈時程〉

18日(木)	9:50～	受付
	10:00～	学校長挨拶/注意事項・連絡事項
	10:30～11:10	体験授業①
	11:20～12:00	体験授業②
	13:30～14:10	体験授業③
	14:20～15:00	体験授業④

次の体験のいずれか3つまで申し込みます

- 普通科 理科「水に浮く?沈む?」
社会「アフリカの文化について」
情報「プログラミングを体験しよう」
- アパレル情報科「Wordでつくる残暑見舞い状」
- インテリア科「自分の部屋をデザインしよう」



〈持ち物〉筆記用具、上履き、体操服(インテリア科の体験実習を希望する場合)
弁当(3つ体験希望の場合)

- ・詳細については、別途配付のご案内をご確認ください
- ・参加希望の学校は、所定の申込用紙により7月8日(金)までにFAXにてお申し込みください。
- ・準備の都合上、締切日以降の申し込みについてはお断りさせていただきます。
- ・参加時間帯を決定した「時間帯のお知らせ」を7月20日(水)までに各校へお送りします。参加者へご配付ください。
- ・生徒の参加に際しましては、必ず教員または保護者の付き添いをお願いいたします。
- ・駐車場がありませんので、車での来校はご遠慮ください。
- ・本校では新型コロナウイルス感染症対策として、事前の検温、体調確認、マスクやフェイスシールド等の着用、手指消毒の徹底、咳エチケットの遵守をお願いしています。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、計画の変更、中止の可能性がございますことをご了承ください。

問い合わせ 大阪府立中央聴覚支援学校 高等部(担当:上田)

TEL 06-6761-1424(高等部直通) FAX 06-6762-18

8/9・10

対面聴講・オンライン開催

第23回 近畿教育オーディオロジー研究協議会
総会および講演会・講習会

<全体講習会> 8月9日(火) 9:15~14:50 または 15:30
オンライン視聴 (Zoom+YouTube)

基礎講座

応用講座

講座① 補聴器の特性とオーディオグラム	講座⑥ 音響学の基礎—入門編—
講座② 人工内耳	講座⑦ きこえの仕組み
講座③ 補聴援助システム	講座⑧ 聴力測定の方法 (質疑応答)
講座④ 難聴学級の取り組み	講座⑨ 難聴児の聞こえにくさについて考える
講座⑤ 各校の聴力検査室紹介 ・検査内容紹介	・講座⑨のテーマをもとに、各校にて討議 ・討議内容をもとに意見交換

◎申し込み時に、基礎講座・応用講座のどちらかを選択して受講

<総会・講演会・講習会> 8月10日(水) 10:00~16:00
大阪府社会福祉会館501

《午前》総会・講演会

「聴覚障害児の言語、思考、感性の発達と指導について」

長南 浩人 先生 (筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 教授)

《午後》講習会『人工内耳センターのSTがしている事—教育と医療のつながり—』

「聴取能への影響や常時装用を狙う、バント加工の話」

近藤 香菜子 先生 (京都大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

「装用後の表出音声を探取して音響分析し、発達を考察する話」

塩見 千夏 先生 (京都大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

「両耳人工内耳の長期経過の話：語音弁別と騒音下聴取」

森 尚彰 先生 (京都大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

関西福祉科学大学保健医療学部リハビリテーション学科 准教授

「医療的な予測と現実、養育者の思いを合わせて今すべきことの話」

山口 忍 先生 (京都大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

(対象) 聴覚障がい教育(療育)に関わる教員・言語聴覚士、保健医療・福祉関係者等

(申し込み) 個人で申し込まれる方を対象に、参加申込フォームを開設します。

ホームページをご覧のうえ、お申し込みください。



締め切り 令和4年7月4日(月) <http://www.normanet.ne.jp/~kinki/>

令和4年度 学校見学会のご案内

本校では、令和5年度新就学にかかる学校見学会を実施いたします。

対象は、令和5年4月に本校の小学部・中学部・高等部本科・高等部専攻科に入学を検討している幼児・児童・生徒及び保護者、または在籍校園教職員です。

《実施日》

小学部	6月28日(火) 10:00~12:30 ※幼稚部5歳児保護者参観・説明会と兼ねています	10月11日(火) 10:00~11:30 ※公開授業・説明会と兼ねています
中学部	7月8日(金) 9:50~11:40 ※中学部授業見学会と兼ねています	9月30日(金) 10:00~11:00 ※小学6年生授業体験会と兼ねています
高等部	6月17日(金) 10:00~11:00 ※高等部の授業参観と兼ねています	9月29日(木) 11:00~12:00 ※高等部の授業参観と兼ねています

希望がありましたら、寄宿舎の見学も可能です。申込書にご記入ください。

《内容》・校内見学および全校、学部概要説明 ・教育相談日程調整

- ※ 所属の学校園で、別紙の申し込み用紙(ホームページ掲載)に必要事項を記入のうえ、希望日時の1週間前までにFAXにてお送りください。
- ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引率の保護者・教員とも1名ずつまでとさせていただきます。詳細については、本校ホームページにてご確認ください。
- ※ 状況によって、急に中止または延期となる場合もあります。直前に本校ホームページにてご確認のうえ、ご来校ください。

[トップページ](#) ▶ [進学される皆さまへ](#) ▶ [学校見学会](#) ▶ [学校見学会\(ご案内\)](#)

【問い合わせ】大阪府立中央聴覚支援学校

TEL 06-6761-1419 (代表) FAX 06-6762-1800

担当 教頭(古川・吉岡) 首席(堀谷)

「みみネット」編集部:

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当: 中咲、金森

〒540-0005 大阪市中央区上町1-19-31

TEL. 06-6761-1419 FAX. 06-6762-1800